

令和7年度教育課程編成方針

学校の教育目標の実現を図るとともに、グローバル化する社会の中で活躍し、たくましく生き抜く力の育成を目指した「令和7年度多摩市立鶴牧中学校の教育課程の編成方針」を下記の通りとする。

記

1 学校の教育目標

ゆとりとうるおいのある環境を生かし、心豊かでたくましい人間の育成を目指す

- | | |
|--------------------|---------------|
| ◎ 創造性に富み実行力ある生徒 | 【◎令和7年度の重点目標】 |
| ○ 自他敬愛の心をもち奉仕する生徒 | |
| ○ 心身ともに健康で活気に満ちた生徒 | |

2 学校の教育目標を達成するための基本方針

(1) 主として創造性に富み実行力ある生徒の育成に関すること

- ① グローバル社会を生き抜く力を育むことを目指し、創意・工夫ある教育活動を意図的・計画的・組織的に展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、対話的な学習を通して思考力・判断力・表現力等を高めるとともに、主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- ② ユネスコスクールとしてESDを推進し、SDGsに基づく地球的視野に立った様々な課題を相互に関連付けるとともに、自らの暮らしや地域の課題と結び付けて考え、他者と協力・協働しながら主体的・積極的に行動する態度を育成する。特に、国際理解教育、防災・減災教育、環境教育を重点として、地域学校協働本部とも連携・協働を図りながら持続可能な社会の担い手となる生徒の資質・能力を育む。
- ③ 「こども基本法」や「多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例」の制定の趣旨も踏まえ、生徒が主体となる集団活動を通して、望ましい人間関係を形成するとともに、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育成する。また、ボランティア活動に進んで参加し、地域や社会に貢献しようとする態度を育む。
- ④ 生徒が自らの生き方について考え、主体的に進路を選択できる力を高めることを目指し、3年間を見通したキャリア教育を地域とも連携しながら意図的・計画的に推進する。
- ⑤ 鶴牧中地域未来塾（水曜サブリ）や留学生・外国人との交流（Tama Tsurumaki Global Gateway）など特色ある教育活動の推進を図ることにより、学習した英語を実践的に活用しようとする意欲や態度を育てる。

(2) 主として自他敬愛の心をもち奉仕する生徒の育成に関すること

- ① 学校の教育活動全体を通じて自主及び自律の精神を養うとともに、人権意識を高め、自他の生命を尊重することができる生徒を育成する。
- ② 第二次多摩市特別支援教育推進計画等も踏まえ、特別支援教室の効果的な活用や特別支援教育コーディネーターを中心にピアティーチャーとも連携して校内委員会が組織的な取組を推進することにより、個別指導計画等に基づく、家庭とも連携した個に応じた指導・支援を充実させる。また、全ての教育活動を通して、お互いの個性を理解・尊重し、一人一人が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となる資質を高める。
- ③ 教職員と生徒の信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深め、生徒が正しく判断し、主体的に行動できる社会人としての基礎となる力を学校の教育活動全体を通じて育成する。また、学校いじめ防止対策推進委員会等を中心として組織的・計画的な取組を行うとともに、道徳科を中心に、全教育活動を通して生徒の規範意識を醸成する。特に、挨拶ができる生徒の育成を重点として取り組む。
- ④ 校内別室の組織的な運営及び魅力ある学校づくりなど、不登校生徒の減少や個別支援の充実にも努める。

(3) 主として心身ともに健康で活気に満ちた生徒の育成に関すること

- ① 生涯を通じて体力の向上や健康・安全に関心をもち、進んで実践しようとする態度を育成する。また、これまでのオリンピック・パラリンピック教育の成果を生かした意図的・計画的な取組を行う。
- ② 感染症に対する理解を深めさせるとともに、科学的根拠を基に正しく判断し、行動できる態度を育成する。

(4) 学校の教育目標の達成に向けたその他の事項

- ① コミュニティ・スクールとして学校・家庭・地域が連携した取組を一層進めるため、学校運営協議会の開催や、地域学校協働本部、地区青少年問題協議会等との連携を図ることにより、地域と協働し、保護者・地域から信頼される学校づくりを推進する。
- ② 南鶴牧小学校及び大松台小学校との連携を深め、SDGs⑱「パートナーシップで目標を達成しよう」を共通の取組目標として設定し、9年間を見通した計画的な指導を充実させる。また、小学校高学年から中学校第1学年への「中1ギャップ」の克服を目指した創意・工夫ある交流活動の充実を図る。
- ③ 保護者による学校アンケート等を通して保護者との連携を深めるとともに、結果を生かした教育活動の改善・充実を図るなど、カリキュラム・マネジメントに努め、保護者から信頼される学校づくりを行う。

3 教育課程編成に関する配慮事項

- (1) 令和7年度は引き続き大規模改修工事を行うが、実施に伴う教育活動への影響は最小限になるよう配慮する。